古代中世文学特殊語 授業コード	6義1 D1010 科目ナンバリング 開講年度学期	単位数 2単位 2024年度第1期
担当者氏名	東城一敏毅	Izozi i izazi i W
—————————— 時間割備考		
时间剖哺 与 授業形態(主)	1講義	
授業形態(副)	<u>2 演習</u> 単独	
西男の 研究分野 (大学院) 本授業の概要	日本文学Ⅰ	
上代文学の学術論文	てを読み進めることにより、学術論文の構成方法、ならびに論証形式を身に付けると同 こおいて、どのような問題点が考察・検討されているのかを概観し、上代文学の諸問題	司時に、上代文学の研究方法・問題点等について議論する。 重について理解を深める。
アクティブラーニン	y グの実施内容	
到達目標		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)
学術論文の語 1	み方について修得できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
博士論文執筆	Eに応用できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
3		
4		
5		
成績評価の基準		対応する到達目標の番号
1 授業内での学	· 徐倫論文演習 50%	1/2
2 論文執筆 50	%	1/2
3		
4		
5		
実務経験のある教員		
実務経験の授業への 日本語以外の言語に		
授業予定一覧		
1.	Eの検討(1) Eの検討(2) 養(2) 養(3) 養(4) 養(6) 養(7) 養(8) 養(9) 養(10)	

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
TWO 1 I (1 I RED) TO SEE OF 1911 I WHE
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
石黒圭『文系研究者になる』(研究社、2021)
他、授業中に適宜指示する。
また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
オフィスアワー
火曜日5限
A PER TO DE
連絡先
tojyo@m. ndsu. ac. jp
LOJYOWIII. Husu. ac. Jp
留意事項
自らの研究テーマにおける学術論文を数多く読みこなすこと。

古代中世文学特殊課 授業コード	f義II D1015 科目ナンバリング 開詞	講年度学期	単位数 2024年度第 2 期	2単位
担当者氏名	DIOI5 件日ナンハリンク 開記 東城 敏毅	叶大文丁树	<u>/ 2025 </u>	
時間割備考	- 3# *			
授業形態(副)	1 講義 2 演習			
研究分野(大学院)	<u>単独</u>			
	てを読み進めることにより、学術論文の構成方法、ならびに論証形式を身に こおいて、どのような問題点が考察・検討されているのかを概観し、上代文			等について議論する。
アクティブラーニン	y グの実施内容		対応するディプロマポリシー	
到達目標			(1知識・技能/2思考・判	断・表現力/3主体性)
学術論文の説 1 1	み方について修得できる。		知識・技能/思考・判断・表	₹現力/主体性
博士論文執筆	Eに応用できる。		知識・技能/思考・判断・割	表現力/主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	· - 術論文演習 50%		1/2	
2 論文執筆 50	%		1/2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への				
日本語以外の言語に				
授業予定一覧	<u>.</u>			
1 2 3 4	Eの検討(1) Eの検討(2) 養(2) 養(3) 養(4) (5) 養(6) 養(7) 養(8) 養(9) 養(10)			

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
T H + P+ 7 T P + 7 P / T P + 1 0001
石黒圭『文系研究者になる』(研究社、2021)
他、授業中に適宜指示する。 また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
また、自らの明光ナーヾにおける参考文献を随時下放すること。
オフィスアワー
火曜日 5 限
連絡先
tojyo@m. ndsu. ac. jp
留意事項
自らの研究テーマにおける学術論文を数多く読みこなすこと。
自らの研究を一くにおける子側論又を数多く読みになりこと。

<u>古代中世文学特殊</u> 請 授業コード	 D1020	単位数 学期 2024年度第1期	2単位
担当者氏名	中井 賢一		
時間割備考			
授業形態 (主)	1講義		
担当形態	<u>2演習</u> 単 <u>独</u>		
研究分野(大学院) 本授業の概要	日本文学 I		
平安文学における記 うものとする。	背問題について、昨今の研究動向を踏まえた精緻な検証を基に、博士論文としてま	⋷とめる力を 養う。主として、受講	者の問題設定に即した演習を行
アクティブラーニン	グの実施内容 調査学習 調査学習	対応するディプロマ	₩1134—
到達目標 —————————		(1知識・技能/2思	【考・判断・表現力/3主体性)
平安文学にお 1 とができる。	ける諸問題について、その解決に向けた精緻、且つ清新な論文を執筆する力を身	}に付けるこ 知識・技能/思考・≒	判断・表現カ/主体性
2			
3			
4			
5			
成績評価の基準 ₁ レポート 40 ⁹	%	対応する到達目標の	番号
	疑応答状況 40%	1	
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1	
3			
4 口頭試問 109	%	1	
5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への	[による授業科目 	•	
日本語以外の言語に	·		
授業予定一覧	<u> </u>		
4. 発展的研究手法	諸問題 まと先行研究・学界動向の理解 1 まと先行研究・学界動向の理解 3 ほど先行研究・学界動向の理解 3 ほ習 1 ほ習 2 ほ習 3 ほ習 4 ほ習 5 ほ習 6 ほ習 7 ほ習 7 ほ習 8		

試験等
学期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
進機学習(NAMA)に必要な学校内容・時間
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 (予習)発表準備など(適宜)
(復習)追加調査など(適宜)
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱石/ 名名/ 光元ル山版社/ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<u> </u> 授業中に指示する。
技术中に由小する。
オフィスアワー
金曜日5限(1・2期)
連絡先
k_nakai@m.ndsu.ac.jp
留意事項
状況に応じ、写本や古注釈、漢文資料を用いる。関係する古注釈・先行研究について、積極的に調べておくこと。授業の多くは演習形式となるため、各自、テーマ設
定の上、あらかじめ発表資料を作成・配布すること。 なお、「Ⅲ」・「Ⅳ」と連続で履修することを原則とする。
なの、「血」 ^{- '1} ' 」 C 建

古代中世文学特殊。 授業コード	<u>構義 IV</u> D1025	単位数 2024年度第2期	2単位
担当者氏名	中井 賢一	1 (1×21 = 19)	
 時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)担当形態	- <u>世界</u> 2 演習 単独		
研究分野 (大学院) 本授業の概要	日本文学 I		
平安文学における記	者問題について、昨今の研究動向を踏まえた精緻な検証を基に、博士論文としてまとめる力	を養う。主として、受講者	番の問題設定に即した演習を行
アクティブラーニン	ノグの実施内容 調査学習 調査学習	対応するディプロマポ	リシー
到達目標	ハナスを明照にのいて、その紹うに向けた特殊、日の達如から立ち執策するもち自にははて	(1知識・技能/2思想)	考・判断・表現力/3主体性)
1 とができる。	Sける諸問題について、その解決に向けた精緻、且つ清新な論文を執筆する力を身に付ける	こ 知識・技能/ 芯考・刊	町・衣切刀/ 主体性
2			
3			
4			
5			
成績評価の基準 , レポート 40	04	対応する到達目標の番	号
'		1	
2	質疑応答状況 40%	1	
3 復習シート1	0%	1	
4 口頭試問 10	%	1	
5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への	見による授業科目 D活用方法	•	
日本語以外の言語(授業予定一覧	·		
3. 発展的研究手流 4. 発展的研究手流	者問題(一部、鎌倉・室町期物語を含む) まと先行研究・学界動向の理解(中古以外の学会の動向も含む)1 まと先行研究・学界動向の理解(中古以外の学会の動向も含む)3 実習1 実習2 実習3 実習5 実習6 実習7 実習7		

試験等
学期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
進機学習(NAMA)に必要な学校内容・時間
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 (予習)発表準備など(適宜)
(復習)追加調査など(適宜)
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱石/ 名名/ 光元ル山版社/ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<u> </u> 授業中に指示する。
技术中に由小する。
オフィスアワー
金曜日5限(1・2期)
連絡先
k_nakai@m.ndsu.ac.jp
留意事項
状況に応じ、写本や古注釈、漢文資料を用いる。関係する古注釈・先行研究について、積極的に調べておくこと。授業の多くは演習形式となるため、各自、テーマ設
定の上、あらかじめ発表資料を作成・配布すること。 なお、「Ⅲ」・「Ⅳ」と連続で履修することを原則とする。
なの、「血」 ^{- '1} ' 」 C 建

古代中世文学特殊講 授業コード	<u>義V</u> 01030	開講年度学期	単位数 2024年度第1期	2単位
	阿部 泰郎	10000 100 100	EVE + 1233 + 143	
時間割備考	日程は別途指示する			
授業形態 (主) 授業形態 (副)	1 講義			
	<u> </u>			
本授業の概要	日本文学 I			
ら中世にかけて広く 方、仏法を滅し障碍 中世につくりだされ	では、その象徴である仏像の聖性をめぐって、人間の苦悩流布していた。また仏像そのものが生ける如来や菩薩とししようとする"反仏法"の存在が、たとえば「天狗」といたあらたな神話として展開する。そうした、中世日本の<領域を越えて探究する。	、て造られ祀られる「生身」信仰が、 ゝう説話上の存在として中世に登場 [、]	、普遍的な<聖なるもの> する。それはまた、「第六	として出現する。その一 、天魔王」の伝承のような、
アクティブラーニン	グの実施内容			
到達目標	,		対応するディプロマポリ (1知識・技能/2思考・	シー 判断・表現力/3主体性)
	きた人々の宗教的心性とは如何なるもので、どのように形 解することを通じて、中世人の世界像を認識することがで			777
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準 上記の問題に	関する理解や認識が、受講者自身の主体的な研究対象にお	いて如何に意識され反映している	対応する到達目標の番号 1	
	―トや討議を通して評価する。			
2				
3				
4				
5	1 7 17 18 7 1 5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への				
日本語以外の言語に 授業予定一覧	よる授業			
12、3、4、5、6、7、8、11、12、3、4、5、6、7、5、6、7、5、6、7、6縁五十年。 11、6線)	ウトー中世世界の伝承 トー中世世界の一大を語る書かれた伝承 大を告にいる声がと楽器の霊具語と神話 される童子を示す。 一中ではるの大きないるのである。 一中では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年			

試験等
レポートによる評価(80%)、授業中のコメント(20%)
試験のフィードバックの方法
授業時間内に講評を行う。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
[予習]事前に「留意事項」の項に記載した課題に取り組むこと。各60分
[復習] 授業内で指示する。 各40分
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自福日》目日》2000年版日》區刊》1880》 从作任功。周号
阿部泰郎『中世日本の世界像』名古屋大学出版会(2018)
オフィスアワー
授業の前後に質問を受け付ける。
DANGE MILLER CANTON OF
連絡先
a19017@mail.ryukoku.ac.jp
留意事項
多数の参考文献(原典資料・研究書・論文等)を授業において提示するので、これらを読んだ上で自らの研究を検討すること。

古代中世文学課題の 授業コード	<u>「究」</u> D1040 科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2024年度第 1 期	2単位
担当者氏名	東城を敏毅	prosect 1 00 1 79	(=== : (\infty) (Y)	
 時間割備考				
授業形態(主)	2演習			
授業形態(副)担当形態	- <u>- 1 講義</u> 単独			
西男子 研究分野 (大学院) 本授業の概要	日本文学 I			
履修者の研究課題に	集中的・焦点的に取り組む。また研究課題に対して	、議論の徹底と研究の深化を図ること(によって、博士論文作成に向	可けての討議を繰り返す。
アクティブラーニン	グの実施内容		対応するディプロマポリ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
到達目標			(1知識・技能/2思考・	・判断・表現力/3主体性)
博士論文作成	に必要な研究方法を修得できる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
学会発表の方	法について修得できる		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
博士論文執筆	の方法について修得できる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1 授業内演習	発表演習・論文作成演習)20%		1/2/3	
2 学会発表(プ	プレ発表含)30%		1/2/3	
3 論文執筆 50	%		1/2/3	
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への			·	
日本語以外の言語(授業予定一覧				
1	議の検討 (の検討 (の検討 (の作成と検討)) ((1) ((2) 計議 (3) 計議 (4) ((4) ((4) ((5) ((5) ((5)			

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
TWO 18 (18 KB) 1923 9718 AND
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
The state of the s
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
石黒圭『文系研究者になる』(研究社、2021)
他、授業中に適宜指示する。
また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
オフィスアワー
火曜日 5 限
連絡先
tojyo@m. ndsu. ac. jp
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

)1045 科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2024年度第2期	2単位
担当者氏名	東城 敏毅			
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副) 担当形態	2 演習			
担当形態研究分野(大学院)	<u>単独</u> ┃古代中世文学			
	集中的・焦点的に取り組む。また研究課題に対して、議論	の徹底と研究の深化を図ることに	こよって、博士論文作成に	向けての討議を繰り返す。
アクティブラーニン	クの実施内容		対応するディプロマポ	リシー
到達目標				・判断・表現力/3主体性)
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1-必安は明九月広と修守してる。			
学会発表の方 2	法について修得できる。		知識・技能/思考・判	断・表現カ/主体性
博士論文執筆	の方法について修得できる。		知識・技能/思考・判	断・表現力/主体性
4				
5				
成績評価の基準 授業内演習	発表演習・論文作成演習)20%		対応する到達目標の番· 1/2/3	를
	レ発表含)30%		1/2/3	
2				
3 論文執筆 509	6		1/2/3	
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への	による授業科目 活用方法			
日本語以外の言語に 授業予定一覧				
1. 博博博学学学学語 () () () () () () () () () (論の検討 の検討 の作成と検討 討議(1) 討議(2) 討議(3) 討議(4) ((1) ((2) ((3) ((4) ((5))			

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
言相句/ 有省/ 无光光比如脉位/ 凹伯/ 1000/ 殊体性剂 " 明
以接事,杂本事(集利事职主以及)
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
石黒圭『文系研究者になる』 (研究社、2021)
ロ 赤王 『人 光 切
他、授業中に適宜指示する。 また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
また、自らの研先ナーヾにありる参考文献を随時作成すること。
オフィスアワー
火曜日 5 限
人唯口の放
'i 60 th
連絡先 table @market and its
tojyo@m.ndsu.ac.jp
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

<u>古代中世文学課題</u> 研 授業コード	[究] D1050 科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2024年度第1期	2単位
	中井 賢一	[M] 1 K 1 M	[2027年及另「初	
時間割備考				
授業形態(副)	2演習			
	単独 【古代中世文学			
本授業の概要	集中的・焦点的に取り組む。また研究課題に対して、議論の徹底と	研究の深化を図ることに	よって、博士論文作成に向	けての討議を繰り返す。
アクティブラーニン	グの実施内容 調査学習			
 到達目標	<u> </u>		対応するディプロマポリシ	
	に必要な研究方法を修得できる。		(1知識・技能/2思考・ 知識・技能	判断・表現刀/3王体性/
学会発表の方 2	法について修得できる。		知識・技能/主体性	
博士論文執筆	の方法について修得できる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
4				
5				
成績評価の基準	9% ± 1577		対応する到達目標の番号	
1 授業内演習	発表演習・論文作成演習)20%		1/2/3	
2 学会発表(フ	プレ発表含)30%		1/2	
3 論文執筆 50	%		1/2/3	
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への	(による授業科目)活用方法			
	_ (_ 7 177 M/s			
日本語以外の言語に 授業予定一覧	·			
1233.4・20 (計計) (123) (1	議の検討 (の検討 (の作成と検討)) ((1) ((2) ((3) ((3) ((4) ((4) ((4) ((5) ((5) ((5) ((5)			

試験等
学期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
N##
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業中に適宜指示する。
技术中に廻且指示する。
オフィスアワー
金曜日5限(1・2期)
連絡先
k_nakai@m.ndsu.ac.jp
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

<u>古代中世文学課題</u> 研 授業コード	开究Ⅱ D1055 科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2024年度第2期	2単位
担当者氏名	中井 賢一	ואין און דייינואון	[2027年]及别名初	
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副)	2 演習			
	単独 日本文学 I			
本授業の概要	- 10	さし研究の深ルナ网スニレニ	トゥア 博士診立をはに向けて	り計議を紹りたす
ME IP 및 OF INTELL	(未午10、 点点1011に収り配名。 よた切え杯風に対して、 成間の限を	らい 元の本 10 と 回 切 こ こ 10	。 プー・	プロプロ技 色 小木 ツ 瓜立 ブ 。
アクティブラーニン	ングの実施内容 調査学習			
到達目標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	・表現力/3主体性)
博士論文作员	ぱに必要な研究方法を修得できる。		知識·技能	J. 50527 - 1111111
学会発表のプ	方法について修得できる。		知識・技能	
博士論文執筆	色の方法について修得できる。		知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1 授業内演習	(発表演習・論文作成演習)20%		1/2/3	
2 学会発表(プ	プレ発表含)30%		1/2	
3 論文執筆 50	%		1/2/3	
4				
5				
実務経験のある教員	員による授業科目			
実務経験の授業への	D活用方法			
日本語以外の言語に	こよる授業			
授業予定一覧 1.博士論文内容の	D検討			
23. 博博士会会会会文文文 (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17	成の検討 にの作成と検討 ・討議 (2) ・討議 (3) ・討議 (4) 義 (4) 義 (3) (3) (4) (5)			

P.F.A. lebe
式験等
学期末レポートを課す。
式験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
〉. 送携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
The second secon
7 ##
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
育箱47 名47 光光光山脉红/ IMイ 130M/ 殊体性別:明芍
受業中に適宜指示する。
ナフィスアワー
企曜日5限(1・2期)
車絡先
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

<u>近世近</u> 行 授業コー	<u>代文学特殊詞</u> ービ		科目ナンバリング		開講年度学期	単位数	2単位
<u>授業コー</u> 担当者」		<u>D1110</u> 山根 道公	科日ナンハリンク		用舑平及子期	2024年度第1期	
時間割	備考						
	態(主)	1講義					
授業形 担当形	態(副)能	2 演習 単独					
研究分	野(大学院)	日本文学Ⅱ					
表現ない	代文学にはき どに注目して	ご分析、読解を行	書的影響のある作品が多く う作品研究を試みる。さら				リスト教的思想や聖書的象徴
アクテ	ィブラーニン	ノグの実施内容				T+1-+	1.
到達目	標					対応するディプロマポリ	Jシー ・判断・表現カ/3主体性)
1	キリスト教的	り、聖書的主題を	もつ日本近代文学の作品を	分析する方法を修得で	きる。	知識・技能/思考・判断	・刊画・表現カ/3 王本庄/ 新・表現カ/主体性
2							
3							
4							
5	(- - +)//-						
±	価の基準 受業内活動と	: 研究レポートに	より評価する。			対応する到達目標の番号 1	7
1 1	文本的心刻と	. 明元レホードに	あり計画する。				
2							
3							
4							
5		1- 1 7 2 4 7 -					
	簸のある教♬ 験の授業への	員による授業科目 D活用方法					
		_ L 7 III W					
日本語 授業予	以外の言語に 定一覧	こよる授業					
3.456.具具456.78.具具具466.11.作作作13.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.1	本明体体体体体体体体品品品ないで、で、おいいのではないではないではないででででででででででででででででででででででででで	E選んで、分析析、 E選んで、分分析析を E選んでで、分分析析 E選んでで、分分析析 E選んでで、分分析析 E選んで、分析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析析	を行う。その2 を行う。その3	の概説。			

試験等
レポート提出(課題の内容については授業中に指示する)
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
事前に作品を読む予習をしておくこと。(約2時間)
主体的に問題意識をもって自分の作品分析と考察をしておくこと。(約1時間)
講義後に、自分の作品分析と考察の内容に修正を加えるなど,復習をすること。(約1時間)
必携書 (教科書販売)
2015音(なれ音版光) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自福山人自己人儿儿为山脉在人间山人 1000人 从序注册 肺勺
N## 6+# (#1)#FF=04)
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業中に指示する。
IXXTERATION
オフィスアワー
金曜日12:00−13:00。メールで質問、相談等は随時受け付ける。
連絡先
yamane@m. ndsu. ac. jp
留意事項
講義で取り上げる作品および指示する参考文献を予め読んでおくこと。
11773 CM / 117 0 17 111 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11

<u>近世近代文学特殊</u> 授業コード	<u>構義Ⅱ</u> D1115	単位数 2024年度第2期	2単位
担当者氏名	山根 道公	12027十汉为 2 沏	
足马召以石			
時間割備考			
授業形態 (主)	1 護姜		
授業形態(副) 担当形態	2 演習 単独		
研究分野 (大学院) 本授業の概要	近世近代文学		
日本近代文学には	キリスト教的、聖書的影響のある作品が多くあるが、そうした中から戦後の小説および を行う作品研究を試みる。さらにそうした作品研究を踏まえて、作家研究にも取り組む		想や聖書的象徴表現などに注
アクティブラーニン	ングの実施内容		
到達目標		対応するディプロマポ	
	り、聖書的主題をもつ日本近代文学の作品を分析する方法を修得できる。	(1知識・技能/2思考 知識・技能/思考・判	・判断・表現力/3主体性) 断・表現力/主体性
1			
2			
3			
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番	-
投業内活動と	:研究レポートにより評価する。	1 1 対応する到廷日標の番	<u> </u>
'			
2			
3			
4			
5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への	員による授業科目 D活用方法		
日本語以外の言語(授業予定一覧	こよる授業		
1. 導入			
3. 具体的な作品品 4. 具体体的的な作作品品 5. 具体体的的な作作品品 7. 具体体的的な作作品品 8. 具体体的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的形式的形式的形	におけるキリスト教の影響のある作品・作家の概説。(戦後~) を選んで、分析、読解を行う。その3 を選んで、分析、読解を行う。その3 を選んで、分析、読解を行う。その5 を選んで、分析、読解を行う。その7 を選んで、分析、読解を行う。その8 を選んで、分析、読解を行う。その8 を選んで、分析、読解を行う。その8 を表えて、作家研究を行う。その2 まえて、作家研究を行う。その3 まえて、作家研究を行う。その4		

試験等
レポート提出 (課題の内容については授業中に指示する)
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
事前に作品を読む予習をしておくこと。(約2時間)
主体的に問題意識をもって自分の作品分析と考察をしておくこと。(約1時間)
講義後に、自分の作品分析と考察の内容に修正を加えるなど,復習をすること。(約1時間)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業中に指示する。
オフィスアワー
金曜日12:30−13:00。メールで質問、相談等は随時受け付ける。
連絡先
yamane@m. ndsu. ac. jp
留意事項
講義で取り上げる作品および指示する参考文献を予め読んでおくこと。
講我で取り上げるTFロのよい自小する参考文献ですの読んでおくこと。

計画機構	<u>近世近代文学特</u> 授業コード	株講義!!! 	間進左左夢物	単位数	2単位
野田本社 日本語 日		D1120 科目ナンバリング 山根 知子	開講年度学期	2024年度第1期	
接名的版 (銀) (2.2世 1月28日 1月2	担当者氏名				
日本語	時間割備考		<u> </u>		
接着影響 (場) 2 (場) 2 (表) 1 (日本文章 1		11 講義			
研究と呼吸に対した。	授業形態(副)	2 演習			
日本近代文字の作品を対象に、一次資料から二次資料にいたる輸売な調査および系統的な整理を行い、そうした基礎資料の把傷を2018年代、目的および方法論を明確にした作品論・作客論に取り組む。 アクティブラーニングの実施内容	研究分野(大学				
到達目標	本授業の概要 日本近代文学の	作品を対象に、一次資料から二次資料にいたる綿密な調査および系統	的な整理を行い、そうした。	基礎資料の把握を踏まえた	:本文批評を経て、目的およ
到達目標	75. · · · · ·				
作業・作品に関する情報を作業論・作品論の分析につなげる方法を身につけることができる。 知識・技能・/ 思考・判断・表現カ/主体性 2 実証性の高い論文を作成できる。 知識・技能・/ 思考・判断・表現カ/主体性 2 実証性の高い論文を作成できる。 知恵・技能・/ 思考・判断・表現カ/主体性 2 実施 2 表現の選挙 1 大学 / 2 まままままままままままままままままままままままままままままままままま		ニングの実施内容 調査学省		対応するディプロマポリ	·
1 収集した文献資料を客観的に整理し、内容を的様に把握することができる。 知識・技能/思考・判断・表現力/主体性 2 実践性の高い論文を作成できる。 知識・技能/思考・判断・表現力/主体性 5 販研学館の基準 対応する到達目標の番号 1/2/3 1 授業内活動:30% 1/2/3 3 は				(1知識・技能/2思考・	判断・表現力/3主体性)
2		品に関する情報を作家論・作品論の分析につなげる方法を身につける	ことができる。	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
3		文献資料を客観的に整理し、内容を的確に把握することができる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
日本語以外の言語による授業		高い論文を作成できる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
成績評価の基準 対応する到達目標の番号 1/2/3 1/	4				
1 授来内活動:30% 1/2/3 1/2/	5				
1/2/3 1/	成績評価の基準				
日本語以外の言語による授業和目 実務経験の授業への活用方法 日本語以外の言語による授業 接業予定一覧 1. 作品・作家に関する資料の調査・整理方法の紹介 その1 2.	1 授業内活	動:30%		1/2/3	
4	2 論文:70	%		1/2/3	
下	3				
東務経験のある教員による授業和目 実務経験の授業への活用方法 日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 1. 作品・作家に関する資料の調査・整理方法の紹介 その1 2. その2 3. その3 4. 先行研究における調査・整理方法の紹介 その1 5. その3 7. 具体的な研究例について講義 その1 8. その3 10. 各自の研究課題に対する方法論や問題点の検討 その1 11. その2 9. その3 10. 各自の研究課題に対する方法論や問題点の検討 その1 11. その2 12. その3 13. 論文作成指導 その1 14. その2 15. その3	4				
 東務経験の授業への活用方法 日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 作品・作家に関する資料の調査・整理方法の紹介 その1 その2 その3 その4 先行研究における調査・整理方法の紹介 その1 その5 その6 その7 具体的な研究例について講義 その1 その8 その9 その3 10. 各自の研究課題に対する方法論や問題点の検討 その1 その2 その3 11. その2 その3 12. その3 13. 論文作成指導 その1 4. その2 5. その3 14. その2 15. その3 	5				
日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 1. 作品・作家に関する資料の調査・整理方法の紹介 その1 2. その2 3. その3 4. 先行研究における調査・整理方法の紹介 その1 5. その2 6. その3 7. 具体的な研究例について講義 その1 8. その2 9. その3 10. 各自の研究課題に対する方法論や問題点の検討 その1 11. その2 12. その3 13. 論文作成指導 その1 14. その2 15. その3	実務経験のある	教員による授業科目		•	
授業予定一覧 1. 作品・作家に関する資料の調査・整理方法の紹介 その1 2. その2 3. その3 4. 先行研究における調査・整理方法の紹介 その1 5. その2 6. その3 7. 具体的な研究例について講義 その1 8. その3 10. 各自の研究課題に対する方法論や問題点の検討 その1 11. その2 12. その3 13. 論文作成指導 その1 14. その2 15. その3					
2. その2 3. その3 4. 先行研究における調査・整理方法の紹介 その1 5. その2 6. その3 7. 具体的な研究例について講義 その1 8. その2 9. その3 10. 各自の研究課題に対する方法論や問題点の検討 その1 11. その2 12. その3 13. 論文作成指導 その1 14. その2 15. その3	授業予定一覧				
	2. 3. 4. 先行研究にお 5. 6. 7. 具体的な研究 8. 9. 10. 各自の研究記 11. 12. 13. 論文作成指記 14.	その2 その3 ける調査・整理方法の紹介 その1 その2 その3 例について講義 その1 その2 その3 果題に対する方法論や問題点の検討 その1 その2 その3			

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
授業中にフィードバックする。
 準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
学順子首(ア首・後首)に必要な子修内谷・時間 予告された授業内容について自己の研究と関わる予習をしておくこと。(約2時間)
授業での指導により自己の研究に関わる調査・考察などの復習をすること。(約2時間)
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱石/名日/光元ル山脈柱/凹桁/TODN/殊体性別・調名
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
 授業中に適宜紹介する。
授業中に適且稲がする。
オフィスアワー
火曜日2時限。その他、メール予約の上、随時対応する。
in the state of t
t-yamane@m. ndsu. ac. jp
留意事項
各自の研究対象となる作家について、作家、作品、および先行研究における必要な情報を系統的かつ網羅的に収集・整理し、表などにまとめて提示できるようにして
おくこと。

近世近	代文学特殊譚 ード	義IV		単位数	2単位
		D1125 科目ナンバリング 山根 知子	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者	氏名				
時間割	備考				
		1講義			
授業形	態(副)	2演習			
担当形 研究分		単 <u>独</u>			
本授業	の概要		めた敦理を行い そうした	*	大文批詞を終て、日めむ上
		1で対象に、一次員杯から二次員杯にいたる帰伝な調査および宗制 た作品論・作家論に取り組む。	のなを生された。そうした。	医啶貝科切形度で唱る人だ	一个人批計を軽し、日的のよ
アクテ	ィブラーニン	グの実施内容 調査学習			
到達目				対応するディプロマポリ	
		関する情報を、作家論・作品論につなげる方法を身につけること	ができる	(1知識・技能/2思考・ 知識・技能/思考・判断	判断・表現力/3主体性)
1					
2	収集した文献	資料を客観的に整理し、内容を的確に把握することができる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
3	実証性の高い	論文を作成できる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
4					
5					
成績評	価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内活動:	30%		1/2/3	
2	論文:70%			1/2/3	
3					
4					
5					
実務経	験のある教員	による授業科目			
<u></u> 美務経	験の授業への	2. 古用万法			
日本語	以外の言語に	こよる授業			
授業予	定一覧				
2.	- TF 涿 (C 医) 9	その2			
3. 4. 先行	研究における	その3 調査・整理方法の紹介 その1			
5. 6.		その2 その3			
7. 具体 8.	的な研究例に	こついて講義 その1 その2			
9.	9の研究課題	その3 に対する方法論や問題点の検討 その1			
11.	コリリ九林恩	その2			
12. 13. 論戈	文作成指導	その3 その1			
14.		その2			
15. 論文提	出	₹の3			

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
授業中にフィードバックする。
 準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
予告された授業内容について自己の研究と関わる予習をしておくこと。(約2時間)
授業での指導により自己の研究に関わる調査・考察などの復習をすること。(約2時間)
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱石/名石/光元ル山冰仁/凹竹/ISDN/殊体性別・哺名
・ 必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
ELINE IN IN ASSESSMENT HELD AND WILLIAMS HILL
授業中に適宜紹介する。
ト オフィスアワー
タンススプラー 火曜日2時限。その他、メール予約の上、随時対応する。
連絡先 t-yamane@m. ndsu. ac. jp
L-yamanewm. nusu. ac. jp
量 留意事項
各自の研究対象となる作家について、作家、作品、および先行研究における必要なデータを系統的かつ網羅的に収集・整理し、表などにまとめて提示できるようにし
ておくこと。

<u>近世近代文学特殊</u> 請 授業コード	 Mag	開講年度学期	単位数 2024年度第1期	2単位
	長原 しのぶ	ᇄᇄᅮᅜᅩᄀᅏᆝ	(
時間割備考 授業形態(主)	1 雜藥			
授業形態(副)	1 <u>講義</u> 2 <u>演</u> 習			
研究分野 (大学院)	単 <u>独</u>			
本授業の概要 日本近現代文学(サ た実践的な方法で表		する背景である社会事情と	ヒメデイア,執筆材料などを客	観的な資料として用い
アクティブラーニン	/グの実施内容 問題解決型学習		対応するディプロマポリシー	
到達目標			(1知識・技能/2思考・判断	
必要な資料の 1 	収集とその資料を用いた作品研究もしくは作家研究ができる。		知識・技能/思考・判断・表	現力/主体性
客観的で論理	的な思考をもって研究論文を作成できる。		思考・判断・表現力/主体性	
3				
4				
5 成績評価の基準			ᆉᅷᆛᅎᆈᇾᄆᄺᇒᇝᆓᄆ	
』 授業内での演	習(取り組みと発表)と最終レポート(論文)により総合的に評価	する。	<u>対応する到達目標の番号</u> 1	
型 取り組み(抗 発表20% 2	出課題含む)40%		1	
	· (論文) 40%		1/2	
4				
5 実務経験のある教員	による将業科目			
実務経験の授業への				
日本語以外の言語に 授業予定一覧	·			
第 2 回:昭和史の 第 3 回:現代での 第 4 回:メディア 第 5 回:作品研研 第 7 回:作家研 第 8 回:作家研 第 9 回:作家研	つ中の文学について で史の中の文学について 記の実例検証① 記の実例検証② 記の実例検証② 活料の収集と分析方法について 近と考察① 近と考察② 近と考察③ 近と考察④ ほの総括			

試験等
期末レポート(論文)
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い、事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間)
先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど、作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間) 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。(約2時間)
日ガの光衣時に交けたとという「これ」がころ家の内谷に修正を加えるなど、後日ですること。 (利2時间)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
自福日/日日/2000 MIT / III / 1887/ 从怀住/ III /
授業中に適宜指示する。
オフィスアワー
火曜日2限
連絡先
nagahara@m. ndsu. ac. jp
留意事項
近代以降の社会事情とメデイア史を理解し、作品研究の幅を広げること。

近世近 授業コ	<u>〔代文学特殊</u> 1 ー ド	講義VII D1145	単位数 2024年度第2期	2単位
担当者		長原 しのぶ	[2027年]及第2刊]	
吐 甲虫	1/# *			
時間割	川畑 考 ジ態(主)	1 講義		
授業形	だ (副) 態 (副)			
研究分	<u>)</u> 野(大学院 きの概要			
		サブカルチャー含む小説)の作品研究・作家研究を具体的な作品を用いて行う。受講生の論ゞ	て作成に資する文献を読んでいく。	o
アクテ	ーィブラーニ	ングの実施内容 問題解決型学習	対応するディプロマポリシー	
到達目			(1知識・技能/2思考・判断	
1	取り上げた	文献について理解した上で,作品研究もしくは作家研究ができる。	知識・技能/思考・判断・表現	見力
2	学術論文の	展開方法と立証方法が理解できる。	思考・判断・表現力/主体性	
3	客観的で論	理的な思考をもって研究論文を作成できる。	思考・判断・表現力/主体性	
4				
5				
	価の基準 授業内での	寅習(取り組みと発表)と最終レポート(論文)により総合的に評価する。	対応する到達目標の番号	
'	取り組み(i 発表20%	度は (1/2	
2				
3	最終レポー	ト(論文) 40%	1/2/3	
4				
5				
実務経 実務経	を験のある教 を験の授業へ	員による授業科目 の活用方法	-	
	日以外の言語 日 定一覧	による授業		
第 1	回:授業に	ついてのガイダンスと導入(文学研究の方法論) ^{歴史中}		
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	回:作家研回:作家研回:作品品的回:作品品分分回:作品品分分分回:	研究史 究① 究② 究③ 究の実例検証 究の実例検証 析と考察① 析と考察② 析と考察④		

試験等
最終レポート(論文)
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い、事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間)
先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど、作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間)
自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど,復習をすること。(約2時間)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業中に適宜指示する。
オフィスアワー
火曜日3限
i
(長原)nagahara@m. ndsu. ac. jp
(RAN) Hegaliar delli. Heda. do. jp
工 留意事項
数多くの文献を読み、作品研究と作家研究の幅を広げること。

<u>近世近代文学課題</u> 研 授業コード	F究I D1150	年度学期 20	単位数)24年度第1期	2単位
担当者氏名	DITIO	, 一及于物 20	/4++	
E-1404				
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副) 担当形態	2演習			
担当形態	単独			
研究分野 (大学院) 本授業の概要				
学生個人の主体的な化を図ることによっ	は問題意識や学生の希望する研究課題に指導教員が助言しながら,集中的、かって,博士論文作成の助言と指導を行う。	焦点的に取り組む研究	Rの場である。課題に対 (ンて指導の徹底と研究の深
アクティブラーニン	ノグの実施内容 問題解決型学習	144	応するディプロマポリシ	<u> </u>
到達目標		([1知識・技能/2思考・	判断・表現力/3主体性)
博士論文の作 1 	:成ができる。	知	識・技能/思考・判断・	表現力/主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準 作成した論文	等の達成度によって判断する。	対 1	応する到達目標の番号	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(中の足成及にようで刊刷する。			
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員	による授業科目			
実務経験の授業への	0活用方法			
日本語以外の言語に 授業予定一覧	こよる授業			
技 大 大 大 大 大 大 大 大	その 2 その 1 その 2 その 3) 1) 2) 3) 1) 2) 3) 4) 5 検討 その 1			

試験等
博士論文
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い,事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間) 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど,作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間) 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど,復習をすること。(約2時間)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
火曜日2限
連絡先
nagahara@m. ndsu. ac. jp
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

<u>近世近代文学課題</u> 研授業コード	T 究II D1155 科目ナンバリング	講年度学期	単位数 2024年度第2期	2単位
担当者氏名	DITIOS	1999十汉丁树	<u> ∠∨∠≒十段历∠册</u>	
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副) 担当形態	2演習			
担当形態	単独			
研究分野 (大学院) 本授業の概要				
学生個人の主体的なの深化を図ることに	は問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的によって、博士論文作成の助言と指導を行う。	的,焦点的に取り組む	む研究の場である。課題 に	こ対して. 指導の徹底と研究
アクティブラーニン	ノグの実施内容 問題解決型学習		対応するディプロマポリ	シー
到達目標			(1知識・技能/2思考	・判断・表現力/3主体性)
博士論文の作	:成ができる。		知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準	等の達成度によって判断する。		対応する到達目標の番号 1	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	、中の圧成反によりで刊聞する。		'	
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員	による授業科目			
実務経験の授業への	D活用方法			
日本語以外の言語に 授業予定一覧	こよる授業			
技工 大	P再検討 その 1 その 2 その 3 その 1 その 2 その 3 0 1 0 2 0 3 0 4 0 5 再検討 その 1			

試験等
試験のフィードバックの方法
100000 1 1 · · · 2 2 427774
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
年曜子自(ア自・後首)に必要な子廖内谷・時间 作家と作品についての資料収集と整理を行い,事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間)
大行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど,作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間)
自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。(約2時間)
and the state of t
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
The same of the same state of
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
火曜日3限
連絡先
nagahara@m. ndsu. ac. jp
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

担当者氏名時間割備考	山根 知子 2 演習	2024年度第 1 期	
時間割備考			
授業形態 (主)			
1元 业 元 4	WW		
授業形態(主) 授業形態(副) 担当形態	単独		
研究分野 (大学院) 本授業の概要	日本文学工		
学生個人の主体的なの深化を図ることに	は問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的、焦点的に取り組まる。 によって、博士論文作成の助言と指導を行う。	む研究の場である。課題に対して、指導の徹底	と研究
アクティブラーニン	ッグの実施内容 調査学習 調査学習 また	対応するディプロマポリシー	
到達目標		(1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体	*性)
博士論文を作 1	:成することができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
2			
3			
4			
5			
成績評価の基準 作成された論	a文等の達成度によって判断する。	対応する到達目標の番号 1	
<u> </u>			
2			
3			
4			
5			
 実務経験のある教員	☆による授業科目	<u></u>	
実務経験の授業への)活用方法		
	- L 7 117 4V		
日本語以外の言語に 授業予定一覧			
次 (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T)	その 2 その 1 その 2 その 3) 1) 2) 3) 1) 2) 3) 1) 2) 3) 4) 5 検討 その 1		

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
授業中にフィードバックする。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い,事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間) 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど,作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間)
自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。(約2時間)
and the state of t
ン 株 李 (
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱47 名47 光光光山似性/ 画格/ 150%/ 殊体性別 端名
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業中に適宜紹介する。
ト オフィスアワー
大型日2時限。その他、メール予約の上、随時対応する。、
連絡先
t-yamane@m. ndsu. ac. jp
[
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

<u>近世近代文学課題</u> 研 授業コード		単位数	2単位
	D1165 科目ナンバリング 開講年度学期 山根 知子	2024年度第2期	
担当者氏名			
時間割備考			
授業形態(主)	2演習		
授業形態(副) 担当形態	単独		
研究分野(大学院)	□ 日本文学 II		
の深化を図ることに	は問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的、焦点的に取り こよって、博士論文作成の助言と指導を行う。	組む研究の場である。課題に対し	して、指導の徹底と研究
アクティブラーニン	ッグの実施内容 調査学習 調査学習	対応するディプロマポリシー	
到達目標		(1知識・技能/2思考・判)	断・表現力/3主体性)
博士論文を作 1	F成することができる。	知識・技能/思考・判断・表	現力/主体性
2			
3			
4			
5			
成績評価の基準作成した論文	て等の達成度によって判断する。	対応する到達目標の番号 1	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		·	
2			
3			
4			
5			
実務経験のある教員	[による授業科目		
実務経験の授業への	D活用方法		
日本語以外の言語に 授業予定一覧	こよる授業		
1. 博士 注	D再検討 その 1		

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
授業中にフィードバックする。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い、事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間)
先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど、作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間) 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。(約2時間)
百万の元教師に交けたテーバイスによりに明力がころ来の自告に廖正と加えるなど、後日とすること。 (前2時間)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
授業中に適宜紹介する。
ト オフィスアワー
スプイスアリー 火曜日2時限。その他、メール予約の上、随時対応する。
連絡先
t-yamane@m. ndsu. ac. jp
(n * + - x
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

近世近代文 授業コート	文学課題研		₽R I	単位数	2単位
		01170	Ħ	2024年度第1期	
担当者氏名	5				
時間割備考					
授業形態	(主)	2演習			
授業形態 担当形態	(副)				
研究分野	(大学院)	単 <u>独</u>			
本授業の概	既要 D主体的な	問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的、焦点的	リー町いい組ま	ご研究の提ざねる 理題	に対して
の深化を図	図ることに	よって、博士論文作成の助言と指導を行う。	TO AX 9 NO.C	J IJ 元のMg C OJ TO 。 AFRE	らに対して、1日等V/版心と JJ 元
	ノフーニン	が の実施内容 問題解決型学習	1	対応するディプロマポ	リシー
到達目標				(1知識・技能/2思考	き・判断・表現力/3主体性)
博士 1 ———————————————————————————————————	=論文作成	のために、主体的な問題意識をもって、集中的、焦点的に取り組むことができる。		知識・技能/思考・判	断・表現力/主体性
2					
3					
4					
5					
成績評価の		等の達成度によって判断する。		対応する到達目標の番	号
1 TF /X	&した 調文	寺の建成及によりて刊聞りる。		•	
2					
3					
4					
5					
実務経験の	りある教員	による授業科目			
実務経験の	り授業への	活用方法			
日本語以外 授業予定-	トの言語に −覧	よる授業			
1. 博士論	命文作成計	画 その 1			
2. 3. テキス	スト分析	その 2 その 1			
4.		その 2			
5. 6. 文献調		その 3 - 1			
7. 8.	その その				
9. 論文作	作成 その	1			
10. 11.	その その				
12. 13.	そのその	4			
14. 論文へ	ヽの評価・	検討 その 1			
15. 論文へ 論文提出	への評価・	検討 その 2			
m / 12 H					

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い,事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間) 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど,作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間)
自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。(約2時間)
and the state of t
ン 株 李 (
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱47 名47 光光光山似性/ 画格/ 150%/ 殊体性別 端名
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
適宜指示する。
ナフィスアワー
金曜日12:30−13:00 メールで質問、相談等、随時受け付ける。
連絡先
yamane@m. ndsu. ac. jp
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

<u>近世近</u> 授業コ	代文学課題研 ード	T 究II D1175	開講年度学期	単位数 2024年度第2期	2単位
担当者		山根 道公	·····································	12027 中 及 知 2 朔	
時間割					
授業形 授業形	態(主) 態(副)	2演習			
担当形研究分	態(副) 態 野 (大学院)	単独 ■ 日本文学 II			
本授業	の概要	•	45 # E451- Boll 4	日本な中の日マナス 一部段	5に対して、北洋の体点し研究
学生値の深化	人の主体的で を図ることに	は問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中 よって、博士論文作成の助言と指導を行う。	的、焦点的に取り剤	且む研究の場である。課題	፤に対して、指導の徹底と研究
アクテ	・ィブラーニン	グの実施内容			
到達目				対応するディプロマポ	
		でのために、主体的な問題意識をもって、集中的、焦点的に研究に取り組	<u></u> むことができる。	(1知識・技能/2思考 ■ 思考・判断・表現力	き・判断・表現力/3主体性)
1	143 <u>— HIII / 11 //</u>	THE STATE OF THE S	0-2% (2 0)	13.13	
				+	
2					
3					
J					
4					
5					
成績評	価の基準			 対応する到達目標の番	号
1	作成した論文	等の達成度によって判断する。		1	
2					
3					
3					
4					
5					
実務経 実務経	験のある教員 験の授業への	順による授業科目 0活用方法		-	
7 777 12					
日本語	以外の言語に	こよる授業			
授業予	·定一覧	+画の再検討 その 1			
2.		その 2 O再検討 その 1			
4.	イストが初り	その 2			
5. 6. 文	献の再調査				
7. 8.		その 2 その 3			
9.論 10.	i文作成 その その) 1			
11. 12.	その) 3			
13.	その その	5			
14. 謡 15. 論	i文への評価・ i文への評価・	再検討 その 1 再検討 その 2			
論文提	出				

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い、事前学習となる予習をしておくこと。(約2時間)
先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど,作品分析と考察の準備をしておくこと。(約2時間)
自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど,復習をすること。(約2時間)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
適宜指示する。
オフィスアワー 金曜日12:30−13:00
並唯ロ 2 : 3 U = 3 : U U
i 連絡先
yamane@m. ndsu. ac. jp
Jamanoon noon go
ロール 日本
数多くの文献を読みこなすこと。
数多くの文制を読みこなりこと。

日本語学特殊講義!! 授業コード	I D1220	単位数 2単位 2024年度第1期 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	DI 220	2024年及第1期
但当有风石		
時間割備考		
授業形態 (主)	2演習	
授業形態(副) 担当形態	単独	
研究分野 (大学院) 本授業の概要		
日本語において敬語	らと同様に対人配慮を示す補助動詞としての授受表現(「〜てあげる」「〜てもらう」「〜て らっていい?」(およびそのバリエーション)に注目し、こうした表現が文学作品において	くださる」等の表現)、中でも最近増加傾向にある依いつ頃から使われ始めているか等について研究する。
アクティブラーニン	グの実施内容 調査学習	
到達目標	<u> </u>	対応するディプロマポリシー
	読して理解できる。	(1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 知識・技能/思考・判断・表現力
研究対象とす 2	る文学作品が選定できる。	知識・技能/主体性
該当表現を抽	出してPCに適切に蓄積できる。	知識・技能/主体性
該当表現につ	いて分析できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
分析結果を研 5	究レポートとしてまとめることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
成績評価の基準		対応する到達目標の番号
1 授業活動内容	: 50%	1/3/4
2 研究レポート	: 50%	5
3		
4		
5		
実務経験のある教員 実務経験の授業への		
日本語以外の言語に 授業予定一覧 第1回:ガイダンス	よる授業	
第2回:先行研究第3回:先行研究第第4回:先分分デ系第5回:先分分デ系第5回:第6回:デ系第8回: データ が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	する小説についての検討 (1) する小説についての検討 (2) 漬方法についての検討 の報告と検討 (1) の報告と検討 (2) する小説についての再検討 (1) する小説についての再検討 (2) 報告と検討 (1) 報告と検討 (2)	

試験等
レポート
 試験のフィードバックの方法
研究室にて個別に伝える。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決方法を考えるとともに、解決方法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音箱石/ 者石/ 完元元山版任/ 10DN/ 殊体性別・偏考
なし。
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。
<u> </u>
オフィスアワー 木曜日3限
i 連絡先
yozaki@post. ndsu. ac. jp
留意事項

日本語学特殊講義 I' 授業コード	/ D1225 科目ナンバリング 開講年度学期	単位数 21 2024年度第2期	单位
	DI 225 件日チンパリング	2024年度第2期	
担当者氏名			
時間割備考			
授業形態(主)	2演習		
授業形態(副)			
研究分野(大学院)	<u>単独</u> - 【		
本授業の概要 日本語において勘認	と同様に対人配慮を示す補助動詞としての授受表現(「~てあげる」「~てもらう」「~	てくださる」等の表現) 中でも最近	増加傾向にある依
頼場面での「~ても	らっていい?」(およびそのバリエーション)に注目し、こうした表現が文学作品におい	ていつ頃から使われ始めているか等に	ついて研究する。
アクティブラーニン	yグの実施内容 調査学習		
 到達目標	•	対応するディプロマポリシー	用力/2 之(((())
	読して理解できる。	(1知識・技能/2思考・判断・表 知識・技能/思考・判断・表現力	現刀/3王体性)
1		2005	
研究対象とす	る文学作品が選定できる。	知識・技能/主体性	
該当表現を抽 3	出してPCに適切に蓄積できる。	知識・技能/主体性	
該当表現につ	いて分析できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/	/主体性
 分析結果を研 5	究レポートとしてまとめることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/	/主体性
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
授業活動内容	: : 50%	1/3/4	
	. 5004	E	
2 研究レポート	: 50%	5	
3			
4			
5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への	による授業科目		
日本語以外の言語に 授業予定一覧	·		
	報告と検討(2) 報告と検討(3) 検討(2) 検討(3) 検討(4) 検討(5) 検討(6) 検討(7)		

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
研究室にて個別に伝える。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決方法を考えるとともに、解決方法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決方法を考えるとともに、解決方法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
必携書(教科書販売) 書籍名人著書人祭書三出版社人居牧人ISBN人惟仕孫則、佛書
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
J-5.1
なし。
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
書籍名/著有/発元元ロ版任/ 10DN/ 媒体性別・偏考
なし。
オフィスアワー
水曜日2限
連絡先
yozaki@post.ndsu.ac.jp
留意事項

日本語	学特殊講義V		単位数	2単位
授業コ		D1235 科目ナンバリング	2024年度第1期	
担当者	氏名			
時間割	備考	日程は別途指示する		
		4 2# 華		
授業形	後 (副)	1講義		
担当形	態(十一一一)	単独		
本授業	ト野 (大学院) その概要			
		賃造もシンタクスも異なる古代中国語を表記するために発明された漢字を用いて、どのように	ノル・カタル・ウタフとい	う言語表現を表記していっ
	:考察する。 :しては、百済	₹・新羅・倭の金石文・木簡、及び文献資料としては、祝詞・万葉集・古事記・日本書紀・風	.土記を用いるが、これらに	影響を与えた漢籍・仏典も
	用する。			
アクテ	· ィブラーニン	グの実施内容 問題解決型学習		
到達目	標		対応するディプロマポリシ	
		解能力を向上させることができる。	(1知識・技能/2思考・ 知識・技能	刊町・衣坑刀/3土体性/
1	200		1200	
	上代咨判註級	 能力を向上させることができる。	知識・技能	
2	ㅗ Ⅳ貝 种视阱	- HE ソ ら F T C A C C A C C A O	AH □以 □ 1义 用L	
	洪去 1.1.451	************************************		
3	選又と上代文	献の読解力に応じて、みずから主体的に問題点を設定し論文のテーマとすることができる。	思考・判断・表現力	
1				
4				
-			思考・判断・表現力	
5				
	価の基準		対応する到達目標の番号	
1	授業中の文献	記解 50%	1	
2	授業中の質疑	応答 50%	2	
3				
4				
5				
	経験のある教員 経験の授業への	[による授業科目		
天伤阳	E 時代 ロノ 打支 未 へ い 。	7 位用刀法		
	以外の言語に	よる授業		
	定一覧	モノ・コトの起源をカタル		
		ョン・コトの起源をガダル 割くられたことば		
3. 漢	掌字漢文の伝来	₹ −論語と千字文		
		-国語表記の開発 1 -国語表記の開発 2		
6.	〈百済=倭〉漢	[字文化圈		
	(と文字 -木) (字による歌	簡に記された歌 −記紀歌謡		
		一懐風藻と万葉集		
10.	┊子で献又を書 Ⅰ本書紀の文字	∮くということ P表現		
12. 古	「事記の文字表	現 1		
	ī事記の文字表 l土記の文字表			
	1.土記の文字表			

試験等
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
事前に、修士論文の概要と現在の研究テーマについて報告すること。約50時間
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
<u> </u>
必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
言語句/有句/光元ル山版社/IMI位/IODN/殊体性別・IIIで
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける。もしくはメールにて行う。
連絡先
m-sema@sophia.ac.jp
留意事項
研究者としての自覚をもって授業に臨むこと。

日本語学課題研究 授業コード	I D1240 科目ナンバリング	開講年度学期 2	単位数 2024年度第1期	2単位
担当者氏名	尾崎喜光	加碘干及于剂 2	1024 平 及 另 1 朔	
E3684				
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副)	2演習			
担当形態	単独			
研究分野(大学院 本授業の概要				
	論文作成に向け、各自の問題意識や研究課題について集中的・焦点的I 果について討議する。	こ発表と検討を行う。また	、分析データを得るため	の本調査をめざした予備調
アクティブラーニ	ングの実施内容 調査学習			
到達目標			対応するディプロマポリ (1知識・技能/2思考)	シー ・判断・表現力/3主体性)
予定する博 1	士論文作成のために必要な予備調査(データ収集)ができる。		知識・技能/思考・判断	
関連文献を 2	精読し適切な評価と自身の研究への位置づけができる。	9	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
上記の作業	を通じて博士論文作成に着手できる。	9	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
4				
5				
成績評価の基準	± •		対応する到達目標の番号	
1 授業活動内	容:50%	[1	/2/3	
2 研究レポー	h : 50%	1	/2/3	
3				
4				
5				
実務経験のある教 実務経験の授業へ	員による授業科目			
日本語以外の言語 授業予定一覧 第1回:ガイダン:	<u> </u>			
第2回:第3回:第3回:第3回:第3回:第5回:明明第5回:明明第5回:明明明明明明明明明明明明明明明明明明明明明明	向性に関する計議 向性(修正案)に関する計議 D発表と討議(1) D発表と討議(2) に関する討議(1) に関する討議(2) D発表と討議(3)			

2024/4/
試験等
レポート
試験のフィードバックの方法 研究室にて個別に伝える。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決法を考えるとともに、解決法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
木曜日3限。事前予約の上来てほしい。
連絡先
yozaki@post.ndsu.ac.jp
留意事項
授業の一部でPCを用いてデータベースを作成する。データベースの作成にあたっては、授業時間以外の時間も使う必要がある。

時間前備考 授業移施(書) 2 遠音 授業移施(書) 2 遠音 (日本語学 7月 1 日本語学 7月 1 日本語 1 日本語学 7月 1 日本	ディプロマポリシー ・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 能/思考・判断・表現力/主体性 能/思考・判断・表現力/主体性
授業形態 (主) 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ディプロマポリシー ・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 能/思考・判断・表現力/主体性 能/思考・判断・表現力/主体性
接来形態 (型) 単独	ディプロマポリシー ・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 能/思考・判断・表現力/主体性 能/思考・判断・表現力/主体性
研究が学 (大学院) 日本語学 不提案の程度 不提案の程度 不提案の程度 不提案の程度 不提案の程度 不提案の程度 1	ディプロマポリシー ・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 能/思考・判断・表現力/主体性 能/思考・判断・表現力/主体性
本授業では、博士論文作成に向け、各自の問題意識や研究課題について集中的・焦点的に発表と検討を行う。また、本語意 アクティブラーニングの実施内容 到達目標 ア定する博士論文作成のために必要な本調査(データ収集)に着手できる。 1 2 2 2 3 3 4 5 5 成績評価の基準 1 2 3 4 5 5 5 5 7 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ディプロマポリシー ・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 能/思考・判断・表現力/主体性 能/思考・判断・表現力/主体性
到達目標 対応する。 対応する。 知識・技 2 での作業を通じて博士論文の作成を進めることができる。 知識・技 2 での作業を通じて博士論文の作成を進めることができる。 知識・技 3 学会発表に向けての準備ができる。 知識・技 3 世条発表に向けての準備ができる。 知識・技 5 反極評価の基準 2 対応する 1 投業活動内容:50% 1/2/3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 能/思考・判断・表現力/主体性 能/思考・判断・表現力/主体性
1 1 1 1 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3	・技能/2思考・判断・表現力/3主体性) 能/思考・判断・表現力/主体性 能/思考・判断・表現力/主体性
予定する博士論文作成のために必要な本調査(データ収集)に着手できる。	能/思考・判断・表現力/主体性能
2 学会発表に向けての準備ができる。 知識・技	
3	能/思考・判断・表現力/主体性
成付評価の基準 対応する 1/2/3	
1 授業活動内容:50% 1/2/3	
1/2/3 1/2/3 1/2/3 1/2/3 1/2/3 1/2/3 1/2/3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5	到達目標の番号
2 3 4 5 5 下	
日本語以外の言語による授業科目 実務経験の形で表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を	
実務経験のある教員による授業科目 実務経験の授業への活用方法 日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 第1回: ガイダンス 第2回: 本調査に向けての調整(夏季休暇の間の検討をふまえて) 第3回: 本調査の中間結果についての発表と討議(1) 第4回: 本調査の中間結果についての発表と討議(2) 第5回: 本調査の中間結果についての発表と討議(3) 第5回: 本調査の中間結果についての発表と討議(4) 第7回: 本調査の中間結果についての発表と討議(4) 第7回: 本調査のがデータの示し方についての発表と討議(1) 第8回: 本調査のボータの示し方についての発表と討議(2) 第9回: 関連文献の追加発表と討議(2) 第9回: 関連文献の追加発表と討議(2) 第10回: 関連文献の追加発表と討議(2) 第11回: 本調査の結果の発表と討議(1) 第11回: 本調査の結果の発表と討議(2)	
実務経験のある教員による授業 日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 第1回: ガイダンス 第2回: 本調査に向けての調整(夏季休暇の間の検討をふまえて) 第3回: 本調査の中間結果についての発表と討議(1) 第4回: 本調査の中間結果についての発表と討議(2) 第5回: 本調査の中間結果についての発表と討議(3) 第6回: 本調査の中間結果についての発表と討議(3) 第6回: 本調査の中間結果についての発表と討議(4) 第7回: 本調査のでデータの示し方についての発表と討議(1) 第8回: 本調査のデータの示し方についての発表と討議(2) 第9回: 関連文献の追加発表と討議(1) 第10回: 関連文献の追加発表と討議(2) 第1回: 本調査の結果の発表と討議(2) 第1回: 本調査の結果の発表と討議(2)	
実務経験の授業への活用方法 日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 第1回: ガイダンス 第2回: 本調査に向けての調整(夏季休暇の間の検討をふまえて) 第3回: 本調査の中間結果についての発表と討議(1) 第4回: 本調査の中間結果についての発表と討議(2) 第5回: 本調査の中間結果についての発表と討議(3) 第6回: 本調査の中間結果についての発表と討議(4) 第7回: 本調査の可に対しての発表と討議(4) 第7回: 本調査のデータの示し方についての発表と討議(1) 第8回: 本調査のデータの示し方についての発表と討議(2) 第9回: 関連文献の追加発表と討議(1) 第10回: 関連文献の追加発表と討議(2) 第11回: 本調査の結果の発表と討議(2) 第11回: 本調査の結果の発表と討議(2)	
授業予定一覧 第1回:ガイダンス 第2回:本調査に向けての調整(夏季休暇の間の検討をふまえて) 第3回:本調査の中間結果についての発表と討議(1) 第4回:本調査の中間結果についての発表と討議(2) 第5回:本調査の中間結果についての発表と討議(3) 第6回:本調査の中間結果についての発表と討議(4) 第7回:本調査のデータの示し方についての発表と討議(1) 第8回:本調査のデータの示し方についての発表と討議(2) 第9回:関連文献の追加発表と討議(1) 第10回:関連文献の追加発表と討議(2) 第11回:本調査の結果の発表と討議(1) 第12回:本調査の結果の発表と討議(2)	
授業予定一覧 第1回:ガイダンス 第2回:本調査に向けての調整(夏季休暇の間の検討をふまえて) 第3回:本調査の中間結果についての発表と討議(1) 第4回:本調査の中間結果についての発表と討議(2) 第5回:本調査の中間結果についての発表と討議(3) 第6回:本調査の中間結果についての発表と討議(4) 第7回:本調査のデータの示し方についての発表と討議(1) 第8回:本調査のデータの示し方についての発表と討議(2) 第9回:関連文献の追加発表と討議(1) 第10回:関連文献の追加発表と討議(2) 第11回:本調査の結果の発表と討議(1) 第12回:本調査の結果の発表と討議(2)	
第2回:本調査に向けての調整(夏季休暇の間の検討をふまえて) 第3回:本調査の中間結果についての発表と討議(1) 第4回:本調査の中間結果についての発表と討議(2) 第5回:本調査の中間結果についての発表と討議(3) 第6回:本調査の中間結果についての発表と討議(4) 第7回:本調査のデータの示し方についての発表と討議(1) 第8回:本調査のデータの示し方についての発表と討議(2) 第9回:関連文献の追加発表と討議(1) 第10回:関連文献の追加発表と討議(2) 第11回:本調査の結果の発表と討議(1) 第12回:本調査の結果の発表と討議(2)	
第14回: 子会発表に向けての討議(2)第15回: 2年次以降の博士論文作成に向けての検討	

2024/ 4/
試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
研究室にて個別に伝える。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
宇順子員(ア自・後首)に必要な子順内台・時間 前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決法を考えるとともに、解決法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
INDUSTRICATION OF THE CAMPACIAN CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR OF TH
シルキ / サル マメ キロ テナ\
必携書(教科書販売) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
音相句/名名/元光ル山版性/ 100
なし。
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
なし。
40°
オフィスアワー
水曜日2限。事前予約の上来てほしい。
連絡先
yozaki@post.ndsu.ac.jp
留意事項
授業の一部でPCを用いてデータベースを作成する。データベースの作成にあたっては、授業時間以外の時間も使う必要がある。

日本思想 授業コー	想史特殊講	§I D1310	単位数 2単位 2024年度第 1 期	
፲ <u>፲፰ - 1</u> 担当者』		本村 昌文	[2024年及第十册	
時間割伽				
授業形態 授業形態 担当形態	悲 (王) 態 (副)	1講義 2演習		
研究分野	野(大学院)	<u>単独</u>		
本授業の 日本思想	の概要 想史上におり	ナる重要なテーマをいくつか取り上げ、そのテーマに関する講義を行った後、関連する研究文:	献を受講者が選択し,内容をまとめて発表・質疑	応答
を行う。				
アクティ	ィブラーニ:	ノグの実施内容 グループ・ディスカッション		
到達目村	標	•	対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体)	件)
1 E	日本思想史研	T究において重要なテーマを把握し,説明することができる。	知識・技能	Σ/
	重要な研究ス	て献(論文,研究書)の内容を的確にまとめ, 問題点を指摘することができる。	思考・判断・表現力	
ft	也者の発表で	F理解し,的確な質問をすることができる。また,質問に対して適切な応答をすることができ	思考・判断・表現力	
4				
5				
成績評価	西の基準		対応する到達目標の番号	
1 ^½	受業での取り	J組み40%	1/2/3	
2	表終レポー	~ 60%	1/2/3	
3				
4				
5				
	験のある教員	員による授業科目		
	験の授業への			
日本語』 授業予定	以外の言語(定一覧	こよる授業		
第1回 第2回	ガイダン	ス 史の研究方法①(講義)		
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	日日神神神儒儒日日日神神神儒儒ととと教教儒日日日思想仏仏仏とと教本本本本	史の研究方法②(演習) 史の研究方法③(演習) 関係①(講義) 関係②(演習) 関係③(演習) 教の論争②(講義) 教の論争②(演習) 仏教の論争③(演習) 祖史における「死」①(講義) 想史における「死」②(講義) 想史における「死」③(講義)		

試験等
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
論文を読み、内容や疑問点をまとめる(4時間程度)。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
適宜、プリントなどを配布する。
参考文献:『日本思想史講座』1巻~5巻(ぺりかん社),『岩波講座日本の思想』1巻~8巻(岩波書店)。
オフィスアワー
授業の前後
連絡先
tomtom@okayama-u. ac. jp
留意事項
自分の研究テーマと関連させながら考える意識をもつようにする。
ログやがたり、これをことが、こうたものは、として、この。

<u>日本思想史特殊講</u> 授業コード	§II D1315 科目ナンバリング	開講年度学期 2024年月	単位数 2単位 変第 2 期
	本村 昌文	別時午及于朔 2024年)	支先~刑
時間割備考 授業形態(主)	2演習		
授業形態(副)	2 演習		
担当形態 研究分野 (大学院) 本授業の概要	単独 関連		
	ナる「死」に関連する史料講読を行う。今年度は、三宅尚斎(16624	〒~1741年)の「祭祀来格説講義」	を講読する。
アクティブラーニン	ングの実施内容 調査学習	[4++	フ → , - + ロ → より > .
到達目標		(1 知言	るディプロマポリシー 識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)
江戸時代にま	おける儒教関連の1次史料を読むために必要な知識を会得する。	知識・打	技能
的確な現代E 2	日本語訳をすることができる。	思考・当	判断・表現力
関連する史料	料にあたり,内容理解を深めることができる。	思考・当	判断・表現力
4			
5			
成績評価の基準 授業での取り	I ≰B Z₂ 1/0∜	対応する 1/2/3	る到達目標の番号
'			
2 最終レポート	~ 00 %	1/2/3	3
3			
4			
5 実務経験のある教員	引 トス 垣 業利 日		
実務経験の授業への	D活用方法		
日本語以外の言語 授業予定一覧	•		
第3年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5	「祭祀来格説講義」の講読① 「祭祀来格説講義」の講読② 「祭祀来格説講義」の講読③ 「祭祀来格説講義」の講読④ 「祭祀来格説講義」の講読⑤ 「祭祀来格説講義」の講読⑥ 「祭祀来格説講義」の講読。 「祭祀来格説講義」の講読・⑨ 「新「祭祀来格説講義」の講読・⑨ 斎「祭祀来格説講義」の講読・⑩ 斎「祭祀来格説講義」の講読・⑪ 斎「祭祀来格説講義」の講読・⑪ 斎「祭祀来格説講義」の講読・⑪ 斎「祭祀来格説講義」の講読・⑪		

=± \$\tilde{\tau} \tau^2
試験等
試験のフィードバックの方法
准件出现 / マ羽 (左羽) / - 2 再长光板中点 。中国
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 担当箇所の現代語訳, 関連資料の調査(6時間程度)
担ヨ箇所の現代語訳, 関連資料の調査(0時间程度)
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
適宜、プリントなどを配布する。
オフィスアワー
授業の前後
連絡先
tomtom@okayama-u.ac.jp
留意事項
自分の研究テーマと関連させながら考える意識をもつようにする。

日本民俗学特殊講 授業コード	§I D1320 科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2024年度第 1 期	2単位
担当者氏名	小嶋 博巳	河畔十尺十岁	12024千戊牙!枡	
時間割備考				
授業形態(副)	1講義 2演習			
	<u>単独</u> ■関連			
本授業の概要	とくに民俗社会における信仰・知識のあり方、仏教・神社神道とし	、るば立字数しの朋友に生 る	5 た 半 ア ア 夬 宛 ナ ス	
		・ う成立示教との関係に無点	れどヨして考察する。	
アクティブラーニン	ノグの実施内容 調査学習		対応するディプロマポリシー	
到達目標			(1知識・技能/2思考・判断・	
日本民俗学を 1 1	:はじめとする民俗宗教研究の立脚点・方法論・成果を理解し,説明	月できる。	知識・技能/思考・判断・表現	לת
民俗宗教研究 2	尼の成果・方法を文学研究に援用できる。		知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1 期末に課すし	パートによって,上記の到達目標の達成度を評価する。		1/2	
2 授業中に課し	た口頭発表を評価に加味する。		1/2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への	による授業科目			
日本語以外の言語に				
授業予定一覧	·			
1. 2.3.4.1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	回識〉 : 〈民俗宗教〉 : いう概念 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			

試験等
期末にレポート提出を課す。
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
授業のサブテーマごとに関係論文の講読が必要。週ごとに平均1~2時間程度。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
〈参考文献〉授業中に提示する。その他、必要な資料は配付する。
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先
s4012@m. ndsu. ac. jp
留意事項
田心下外

日本民俗学特殊講 授業コード	<u> </u>	間護左帝尚即	単位数	2単位
	D1325 科目ナンバリング 小嶋 博巳	開講年度学期	2024年度第2期	
担当者氏名				
時間割備考				
授業形態(主)	1 講義			
授業形態(副) 担当形態	<u>2演習</u> 単独			
研究分野(大学院) 本授業の概要	関連			
日本の民俗宗教にお	らける神がかり・憑霊について、シャーマニズム理論を検討するとと	∶もに、中国地方の神楽を∄	Eたる題材の一つとして考察する	o
アクティブラーニン	ノグの実施内容 調査学習		対応するディプロマポリシー	
到達目標	20 CH H ((1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
民俗宗教研究	Rの成果に立ってシャーマニスティックな宗教文化を理解し,説明で	҈ きる。	知識・技能/思考・判断・表現	<u>ת</u>
シャーマニス	、ム文化の研究を文学研究に援用できる。		知識・技能/思考・判断・表現:	カ/主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1 期末に課すし	ッポートによって,上記の到達目標の達成度を評価する。		1/2	
2 授業中に課し	た口頭発表を評価に加味する。		1/2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への	による授業科目)活用方法			
日本語以外の言語(
授業予定一覧				
1. 2.3.4.5 1. 2.3.4.5 1. 2.3.4.5 1. 2.3.4.5 1. 2.3.4.5 1. 2.3.4.5 1. 3.4.5 1. 3.5 1. 3.5 1. 3.5 1. 3.5 1. 3.5 1. 3.6 1.	マーマンと古典的なシャーマニズム理解 シャーマニズム論 シ論説 リ 優霊信仰 記信仰 目 いり・憑霊 長神楽 関			

試験等	
期末にレポート提出を課す。	
The state of the s	
試験のフィードバックの方法	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
授業のサブテーマごとに関係論文の講読が必要。週ごとに平均1~2時間程度。	
及来のファイトととに対応になる時間は必要。過じてによることが同様な。	
必携書(教科書販売)	
かから(我代言歌ル) 幸然々(英文・変表二川町社)/団技(ICDN)/社は任意印)	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
必携書・参考書(教科書販売以外)	
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
〈参考文献〉授業中に提示する。その他、必要な資料は配付する。	
オフィスアワー	
オフィスアワー	
オフィスアワー	
オフィスアワー	
オフィスアワー	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける 連絡先	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける 連絡先	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける 連絡先	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける 連絡先 s4012@m. ndsu. ac. jp	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける 連絡先	
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける 連絡先 s4012@m. ndsu. ac. jp	

キリスト教思想史特殊講義 [
技术□ 担当者		が	2024年及弟「舠					
担当日	八石							
時間割	備考							
		1 講義						
担当形	態	<u>2演習</u> 単独						
研究分 本授業	野(大学院) の概要	関連						
古代地	中海世界に生	まれ、ヨーロッパを経由して近代日本の文化・制度形成に深甚な影響を与えたキリスト教思? いに、必要に応じて近代日本文学にも言及する。	想の歴史を学ぶ。第1期はき	Fリスト教思想の基礎とな				
アクテ	アクティブラーニングの実施内容 グループ・ディスカッション							
到達目	標		対応するディプロマポリシ(1知識・技能/2思考・	·一 判断・表現力/3主体性)				
1	キリスト教思	想の重要な概念と学説を理解し、説明することができる。	() Allow JAne, Clark	THE ASSIST OF THE				
2	キリスト教思	想史の研究方法論を身につけ、自身の研究課題に応用することができる。						
3	キリスト教思 意欲をもつこ	想史研究の現代的意義を理解し、研究を通して得られた知見を社会に還元し他者に貢献する とができる。						
4								
5								
式 结页	価の基準		対応する到達目標の番号					
		態度 (30%)	対心する到廷日保の留方					
	リアクション	ペーパー (20%)						
2								
3	期末レポート	(50%)						
4								
5								
	験のある教員	による授業科目						
	験の授業への							
日本語以外の言語による授業 授業予定一覧								
1 イ	ントロダクシ	/a >						
2345678910112213	リ書書書書書書 大解解解解((3) 大解解解解解解解 教(1) (4) (5) (6) (7) (9) (9) (10)	 (要的背景 (ません) 大きない。 (本) 大きない。						

試験等
期末レポート
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める(各4時間)。
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
聖書 聖書協会共同訳 旧約聖書続編付き//日本聖書協会/3600/9784820213451/冊子版
オフィスアワー
メールでの回答のほか、授業終了後に教室で質問を受け付ける
直 連絡先
度報告 hakamada@nanzan-u. ac. jp
nanamadagnanzan d. ac. jp
DD 辛吉 西
留意事項
本授業では、教員による講義に終始せず、場合により演習形式も取り入れる。

キリスト教思想史特殊講義!!							
担当者		所は45	2024年度第2朔				
担ヨ在	1人石						
時間害	削備考						
授業形		1講義					
授業形 担当形	/態 (副) /態	<u>2演習</u> 単独					
研究分	う野 (大学院) 美の概要	関連					
古代地リスト	b中海世界に生 → 教思想史の展	きまれ、ヨーロッパを経由して近代日本の文化・制度形成に深甚な影響を与えたキリスト教思? 開を、具体的な歴史的事象とそれがもたらした文化をめぐって考察し、必要に応じて近代日:					
アクテ	アクティブラーニングの実施内容グループ・ディスカッション						
到達目	標		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)				
1	キリスト教思	想の重要な概念と学説を理解し、説明することができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性				
2	キリスト教思	想史の研究方法論を身につけ、自身の研究課題に応用することができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性				
3	キリスト教思 意欲をもつこ	想史研究の現代的意義を理解し、研究を通して得られた知見を社会に還元し他者に貢献するとができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性				
4							
5							
	近年の甘油		対内はス列達日標の番号				
	平価の基準 授業への参加	態度(30%)	対応する到達目標の番号 1/2/3				
	リアクション	ペーパー (20%)	1/2/3				
2							
3	期末レポート	(50%)	1/2/3				
4							
5							
	B 野のある数員	による授業科目					
実務経	を験の授業への	活用方法					
日本語以外の言語による授業 授業予定一覧							
1 1	′ントロダクシ	[・] ョン ローマ帝国とキリスト教					
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	E位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	: 離 : : (1) クリスマス					

試験等
期末レポート
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める(各4時間)。
EXC 1.00.222 E. E. E. C.
必携書(教科書販売)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
The state of the s
必携書・参考書(教科書販売以外)
書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考
聖書 聖書協会共同訳 旧約聖書続編付き//日本聖書協会/3600/9784820213451/冊子版
〈参考書〉
▶・上智大学中世思想研究所監訳『キリスト教史』1~3. 平凡社ライブラリー. 1996年.
・K・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』平凡社ライブラリー、2000年
オフィスアワー
メールでの回答のほか、授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
hakamada@nanzan-u.ac.jp
留意事項
本授業では、教員による講義に終始せず、場合により演習形式も取り入れる。
で以来には、私見にのも時我に で知じず、物目にの / 飛目がれて私 / 八/10つ。